

平成 27 年度 サービス管理責任者研修 (就労分野) 事前課題

平成 27 年 11 月 26 日(木)

1) 事前課題 1...自己紹介の準備

分野別 1 日目 アイスブレイクとして演習導入時に実施します。

演習グループにはすでに顔見知りの方もいれば、初めて顔を合わせるという方もいます。二日間同じメンバーで演習を行う上で演習導入時にお互いのことを知り、演習がスムーズに行われることを目的に自己紹介を行っています。

当日発表できるように、準備をしておいてください。項目は以下の通りです。

- 氏名
- 所属 (サービス種別と事業所名)
- 今回の研修に参加する意気込み

2) 事前課題 2 ...本人を知るための地図、ニーズ整理表

分野別 1 日目 グループ内で事例の共有化に使用します。

事例概要(サービス等利用計画、プロフィール、アセスメント)を読み込み、本人を知るための地図及びニーズ整理表を作成してください。

実際に自分の事業所等で使用している書式と異なるため記入しづらい面もあるかと思いますがよろしく願いいたします。

作成した「本人を知るための地図」「ニーズ整理表」は研修当日、ご自分の分と、ファシリテーター分を合わせて 2 部ずつご持参ください。

3) 注意事項

事前課題について、未実施の状態で研修に参加することがないようにしてください。未実施であることが分かった場合、その時点でご退室いただきますので予めご承知おきください。本人を知るための地図及びニーズ整理表を当日忘れた場合にも同様の対応となりますのでご注意ください。

サービス等利用計画

利用者氏名	神奈川 ジロウ	障害支援区分	2	相談支援事業者名	○ 相談センター
障害福祉サービス受給者証番号	123456789	利用者負担上限額	0円	計画作成担当者	○○ ××
地域相談支援受給者証番号	987654321				

計画作成日	2015年10月1日	モニタリング期間(開始年月)	2016年1月	利用者同意署名欄	神奈川 ジロウ
-------	------------	----------------	---------	----------	---------

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	運送関係の仕事を退職してから1年半が過ぎてしまった。退職後は何もしないで自宅にいたことが多かったので体力的にも自信がないし、なによりもまた、会社で上司や先輩たちにいる注意されたり怒られるのではとの不安がある。自分としてはもう一度就労にもチャレンジたいし、いつかは兄のように結婚して家庭を持ち自立した生活がしたいと思っている。だけどどんな仕事が入っているのかもわからないので今はいろんな仕事の経験もしてみたいし、体力もつけなきゃいけないと思っている。
総合的な援助の方針	環境が変わった事による不安の軽減と、生活基盤を整えていく。今後の本人が希望とする生活を実現するために、本人と一緒に考えていけるような支援体制作りを行っていく。
長期目標	施設外就労や就労移行支援事業所の利用など、様々な仕事や体験を通して再度就労にチャレンジしていこう。
短期目標	毎日通うことで生活リズムを整えよう。ゲームやパソコンなどの趣味を通じて気の合う仲間を作ろう。

優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等		課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量(頻度・時間)	提供事業者名(担当者名・電話)			
1	規則的な生活をするために毎日休まず通いたい。	・仕事の環境に慣れるためにも、少しずつ不安を減らしていこう。 ・起床する時間や出勤時間など自分なりに生活を組み立て家族とも相談していこう。	3ヶ月	電化製品の検品・箱詰め・梱包・組立て パソコンデータ入力 月～金 9:30～16:00	カナガワB事業所 担当者 氏 電話 00-0000	毎日元気に通おう。疲れた時は無理をせず休むことも大切。欠席等必要な連絡は自分でしょう。 得意な仕事を見つけよう。	3ヶ月	本人の理解できる言葉で説明していく。
2	人と話すことが苦手なので同じ様な趣味の人と話をして楽しく生活したい。	他の利用者さんや職員さんとの交流の中で、楽しく他者との関係を作っていく。	3ヶ月	出勤時、退勤時、また休憩時間等必要な挨拶や会話等支援者から声をかけていく。	カナガワB事業所 担当者 氏 電話 00-0000 ○ 相談センター 電話××-××××	分からない時や困った時は自分からも支援員さんに相談してみよう。	3ヶ月	本人から話しかけられた時はその場で話を聞くように配慮する。聞く時間がない場合は『後で』ではなく聞ける時間と場所を明確にする。

演習事例の概要

利用事業所及び地域の状況

利用事業所	就労継続支援 B 型事業 定員 20 名 現在の利用者は精神障害が 6 割、知的障害が 4 割を占める。	
事業所所在地の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・人口 40 万人 交通の便は比較的、整っており、最寄駅からバスで 20 分程の場所に立地している。 ・県内でも企業や店舗が集積している地域であり働く場は多いが、企業が減少傾向にある。八ローワークまでは車で約 10 分である。 ・地域の協議会に就労支援部会が設置され、少しずつではあるが事業所間の連携ができてきている。 	
地域の社会資源の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市内には障害者就業・生活支援センター、障害者職業センター等、就労支援の主要な機関がある。また、就労移行支援・就労継続支援 A 型・B 型事業所も存在し、障害者雇用も積極的に行われている地域である。 ・同一法人内には就労移行支援事業所、職場適応援助者の資格を有する職員がおり、必要に応じてジョブコーチ支援を行っている。 ・同一法人に相談支援事業所がないが、市内には障害別に 3 箇所ある。 ・同一法人にグループホームはないが、他法人が運営するグループホームが 20 カ所存在し、居宅介護支援事業所も市内に 30 箇所ある。 	
地域の地場産業	環境、バイオ、医薬品、IT 関連産業を中心に中小企業が多数存在する。近年は観光資源を活かした産業が発展してきており、街が活性化してきている。	
日課	就労継続支援 B 型事業 平日 9:30 ~ 16:00	
主な作業内容	作業内容	工賃の状況
	電化製品下請け作業（検品、箱詰め・梱包、組立）	10,000 円 ~ 30,000 円

利用者のプロフィール表

名 前	神奈川 ジロウ
性別・年齢	男性 21歳
身長・体重	169cm、56 kg
生育歴・病歴	<p>県内 A 市で出生。幼少期は言葉の遅れがみられ、言葉の教室に親子で通っていた。地元の小・中学校の普通級に在籍していたが、勉強の遅れ、また、同級生とのつきあいがうまくいかず、からかいの対象となりいじめられ学校を休みがちになる。中学校2年生の時、担任教諭と相談し、児童相談所で判定を受けたところ、軽度の知的障害と広汎性発達障害の診断をされた。さらに担任教諭の勧めにより、精神科を受診し、一時的に安定剤が服用された。</p> <p>その後、特別支援学校に進学、サッカー部にも所属し友人もできた。学校では、サッカー部の先生が、困った時に話を聞いてくれるなど、環境にも恵まれ、休むことなく通っていた。本人も「特別支援学校時代が一番楽しかった」と話している。</p> <p>性格は真面目であるが、自分に嫌なことや自分に不都合なことがあると、避けてしまう傾向がある。またストレスを感じやすい、イライラなどの感情が押さえられず、トラブルになってしまうことがある。</p>
家族構成 家族状況	<p>家族構成 両親・本人・兄 父親 58 才・母親 56 歳・兄 25 歳</p> <p>父親は仕事が忙しくほとんど本人との関わりはないが、たまの休日はドライブなどで接している。母親が中心となり本人を育ててきており、本人の障害については理解しているが、本人の自立を心配するあまり口うるさいこともある。</p> <p>兄は結婚し県内に在住している。毎月ではないが、何か用事のある時には家族(妻・子ども)で里帰りしている。本人と兄家族の関係は良好であるが、両親は結婚し独立した兄に本人の面倒を見てもらうことはできないと考えている。</p> <p>本人には将来、一般企業で働き自立した生活を送ってほしいと考えており、現在の生活を心配している。</p>
相談にいたる 経緯	<p>特別支援学校卒業後、市内の運送会社に就職した。運送会社の仕事では、荷物の仕分け、積み込み作業を行うが、先輩の指示された内容が理解できず度々注意を受けていた。また、日により仕事の予定や手順が変わる環境の中で、誰にも相談できず、精神的にストレスを感じるようになった。</p> <p>就職後、半年が経過したころから遅刻や欠勤が増えたため、会社とも相談しながら継続して働いていたが、結果就職から1年半後に退職となった。退職後は、何をしたらよいかかわからず、買い物や年に数回、友人に会う時に外出する程度で自宅にひきこもった生活になる。退職後一年半が経過し、この先の本人の生活を心配した母親が市役所に相談したところ、市内の相談支援事業所を紹介された。</p> <p>本人は相談支援事業所の相談員に「自分も彼女を見つけて結婚し、兄のように一人前の男として生活したい」と話している。</p> <p>仕事については意欲もあり「もう一度、働きたい」と話すがまた失敗し、先輩や上司から怒られるのではないかと不安も強く感じられた。</p> <p>このため相談員は、かつて特別支援学校時代に実習した経験のある就労継続支援 B 型の事業所を紹介し、利用に向けて2週間の実習を行った。</p>

アセスメント参考事項(実習記録)

項目	現 状
住環境	両親と一軒家に同居している。 兄は結婚し県内に在住している。 毎月ではないが、何か用事のある時には家族(妻・子ども)で里帰りしている。
障害の状況	軽度知的障害(B2) 広汎性発達障害
健康面・身体 の状況	健康面での配慮事項はないが、退職後は自宅で過ごすことが多く、昼夜逆転してしまうこともあり、体力はあるが自宅生活が長く低下している状況である。
A D Lの状況	特別な配慮は必要としないが、身だしなみにだらしないところがあり衣類の乱れ、髭そり、髪の手入れ等、声かけが必要である。
家事	洗濯、掃除は経験がない。 食事作りは、調理実習でした程度で経験は少ない。 母親がいない時は、コンビニの弁当や冷凍食品をレンジで温めたり、ポットのお湯でカップ麺を食べたりしている。
趣味	雑誌や漫画、パソコンを使ったゲームやインターネットを利用し、様々な情報を得ることも兄から教わっている。 また漫画のワンピースが大好きで、毎週ワンピースの掲載されている漫画を買うことを楽しみにしている。 高校時代は電車に乗り、キャラクターのフィギュアを買いに行くことが好きだった。
コミュニケーション	コミュニケーションや暗黙のルールを理解することが苦手である。 言葉による説明では返事はするが、実際には理解できていないことが多い。 一度に二つ以上の作業指示をしてしまうと混乱してしまうことがある。 自分の意見や考えを伝えるのが苦手である。
金銭管理	障害年金2級を受給。 就職していた時は、月に10万円の給与収入があった。 金銭管理はこずかい程度は可能である。 就職していた頃は、給料を自己管理していた時期もあったが、雑誌やゲーム等に使いすぎてしまうことがあり、結局は母親が管理をするようになった。
社会的マナー 交通ルール等	挨拶は自らできないが、相手より挨拶されれば、丁寧に挨拶することができる。 公共交通機関は利用できる。
福祉サービスの 利用	相談支援事業所を利用しているが、それ以外の福祉サービスの利用はない。
就労	働きたいという思いはあるが、自分に向いている仕事がわからなく、教えてほしいと思っている。 また先輩や上司にまた怒られるのではないかと云う不安があり、心配している。
作業について	事業所で2週間の実習を終えた結果は、検品、箱詰め、梱包作業は手先が器用なため、スピードは遅いが几帳面に行っていた。 パソコンでのデータ入力は本人も好きな作業であり、積極的に取組んでいた。 対人関係は苦手でありわからないことがあっても、職員に作業指示を聞くことができずミスがあった。 部品の組立て作業は、口頭の指示だけでは順番を間違えることがあったため、職員が作業方法を口頭で指示すると「すみません、すみません」と自分を責めてしまう傾向がみられた。 作業態度は真面目だが疲労から作業ペースが落ち、集中力が低下している様子が見られた。 休憩時間は1人でゲームをして過ごすことが多いが、職員や他の利用者から自分の興味のある話では楽しく会話をする様子もあった。
人間関係	特別支援学校時代は、サッカー部でゲームが好きな友人がおり、卒業後は年に数回はサッカー部の仲間と会うなど交流は続いている。 初対面は苦手であるが、特別支援学校のサッカー部の仲間内とは、明るく話すことができる。

本人を知るための地図

私の今の願い・希望は です

私自身・家族・環境のストレングス

私の将来の夢・希望は です

私は、今までこんな生活をしてきました。生き方をしてきました。

私の不安や気にしていることは？

私は今このような環境で生活しています。



< 記入方法 >

所属 _____

名前 _____

ニーズ整理表

本人の希望や願い	現状 (本人・家族・環境の現状)	ストレングス (本人・家族・環境の強み)	支援の可能性 (支援者の見立て)
<ul style="list-style-type: none">● 箇条書きします。● ここで出された項目ひとつひとつに対し、 _____ の順番で整理していきます。● 本人・家族で内容が異なる場合、(本人)(家族)と分けて記入してください。	<ul style="list-style-type: none">● 本人・家族の希望や願いに関連する現在の状況を記入してください。	<ul style="list-style-type: none">● 本人・家族の希望や願いと現在の状態から関連するストレングスについて記入してください。	<ul style="list-style-type: none">● 左の三つの事柄を踏まえ、解決するために必要な内容を記入します。この内容が個別支援計画の支援目標になることを意識してください。

100文字アセスメント

「私は・・・」で始めます。

参考

- ・「私は病院や施設に入らずに自宅で介護者のサポートを受けながら生活していきたい。でもこのままだと夫の体調やお金の負担も心配……。だれか私を介助してくれる人がきてくれないかしら・・・(87字 身体障害 肢体不自由のある人)」
- ・「ぼくは入院して10年目。日常家事はうまくできないけれど退院後はお金を自由に使ったり、人を気にせず自分のペースで生活したいので、アパートでひとり暮らししたい。でも保証人もいないし……。それにどんなひとり暮らしになるのかなぁ?(108字 精神障害 統合失調症のある人)」
- ・「ぼくは今の家で暮らしながら、そのうち作業所でなくちゃんと働きたい。だけど話の理解も作業も遅いし、皆についていけずにちょっと不安もある。また体調不良の母親もいるし、何かとうるさい兄もいてどうしていいか困っているんだ。(109字 知的障害のある人)」

(引用：駒澤大学准教授 佐藤光正先生 相談支援従事者初任者研修)

所属 _____

名前 _____

ニーズ整理表

本人の希望や願い	現状 (本人・家族・環境の現状)	ストレンクス (本人・家族・環境の強み)	支援の可能性 (支援者の見立て)

100文字アセスメント

--